



- 講師：清水隆太郎  
(株式会社博進堂 博進堂大学)
- 日時：2017年12月8日(金) 13:30~17:00
- 会場：森の共育実修所「点塾」
- 参加人数：5名

## [プログラム]

- 講話「そもそもファシリテーショングラフィックとは？」
- 個人実習「道具に慣れよう」
- 個人実習「一人会議」
- グループ実習  
「ファシリテーショングラフィックを活用した話し合い」

## ペンの持ち方、使い方、書き方の実習 ファシリテーション グラフィック基礎

今回の講師は社内外で育成研修の講師を担当する清水隆太郎さん。ファシリテーショングラフィック(以下、FG)に出会ったのは大学卒業したばかりの震災ボランティアをしていた頃。最初は何が何だかわからずに、下手ながらもとにかく機会をもらって書いていたと言います。

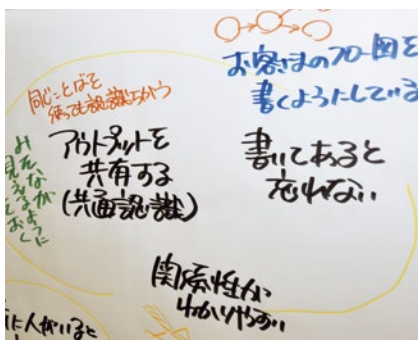
基礎編ということで、まずはFGの道具であるマーカーの使い方、書き方からスタート。人が話すスピードに書くスピードが追い付くためには、慣れが必要だと言います。その後にA3用紙に自分の考えをまとめる一人会議を実習し、参加者一人ひとりの関心事をまとめました。頭の中にあることは書き出して目に見えるようにすることで整理されます。最後はグループになって、FGを活用した話し合い。一人では思いつかないアイデアも、集団で考えると良い考えが浮かびます。FGは上手く書くことが目的ではなく、参加者一人一人が自分事になって考える場づくりなのだ学びました。



## [講師より]

久しぶりにFGの講座を担当させていただきました。今回は「基礎編」ということで、最初は苦手な人でも練習と場数を踏むことが大切だという視点で進めました。FGは話し合いのための技術ですが、自分にとっては様々な視点から全体を見るため、人の話をしっかりと聞くための練習だと考えています。この講座に参加していただいたことで、何か日常のヒントになれば幸いです。模造紙でなくても、普段使いのメモ帳やペンで好きなものを使って、メモの取り方を工夫するだけでも変わります。

株式会社博進堂 博進堂大学  
清水隆太郎



CHECK OUT CARD

場数をこなして  
うまく人の意見を引き出し、  
見やすいものに  
なりたいと思いました。  
このように進行すればいいと  
いうフレームができた。


CHECK OUT CARD

FG的なやり方から  
自分らも含めて  
いろと改めて  
思い直した!!  
会計事務所の中の  
差別化ポイントだと  
思う。

CHECK OUT CARD

頭のなかのイメージを  
書き出すのが難しい、  
場数を必要だと  
感じました。

CHECK OUT CARD

意見の要点  
を、どのように  
書くかが  
みそ 

CHECK OUT CARD

「意見の要点は  
どこなのか？」に  
注目して  
聞くことが大事!

